

Russell Square

あずまやにユニークな銅像が住む

ラッセル・スクエア



ラッセル・スクエアは、19世紀中頃の英国ロンドンにあったフェンスで四角（スクウェア）に囲まれた庭園をサンプルとしてデザインされています。

1994年10月に出入り口や囲い、外灯などが新しく備え付けられました。その際、シンボリックでもある公園中央のあずまやと、その周りに備え付けられた噴水、地元アーティストによる30ものユニークな銅像やオリジナル・アートが施されました。

そして、そのあずまやを中心に東西南北に真っ直ぐ伸びるレンガで仕切られた歩道も、この公園の特徴と言えるでしょう。また、ここでは各種コミュニティのフェスティバルやライブ音楽会のナイトイベントなどが催され、昼夜問わず、多くの人たちの目を引いています。



あずまやを飾る独創的なアートの一部



公園と隣接するブルーキャットバス12番のバス停

設備

